

横浜市立笹野台小学校 平成30年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
「元気いっぱい やさしさ いっぱい 笑顔いっぱい 心がややく 笹小キッズ」(笹野台小の合い言葉)	
・人とのふれあいを通して、相手を思いやる気持ちや公正公平な心情を育み、豊かな心を育てていきます。	
・楽しく分かる授業を通して、学習する喜びを味わえるようにし、学力向上に努めていきます。	
・健康や安全の大切さを学習や生活の中で体験的にとらえさせることで、健康の保持増進や安全意識を高めていきます。	
・地域行事への参加や地域の教育力を活用していくことで、まち全体で教育を推進していきます。	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

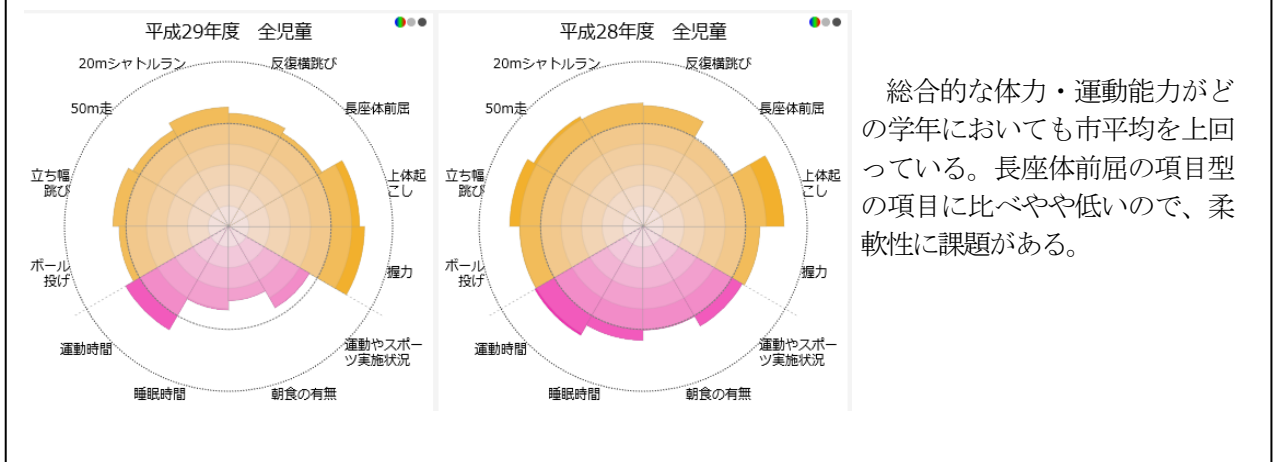
重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	健やかな体	一人一人が運動の楽しさや喜びを味わい豊かに学びあう姿勢を育てます。多様な運動に親しむ機会の設定を通して、健康の保持増進と体力向上を目指します。	① スポーツデイやドッジボール集会、縄跳び集会等を行い、楽しみながら体力向上に向かう取組を行う。 ② 体育の授業では、体力テストで見い出された課題を克服するために、運動の楽しさを味わえるように学習形態や学習用具等の工夫をする。
	体育部		

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・市の平均に比べ、朝食の摂取率が低く、毎日食べていない子どもが数名いる。
- ・地域に外遊びができる空間は比較的あるものの、学年が上がるにつれて学習塾等の習い事に通っている児童も多く、体を動かす習慣が身に付いていないとは言えない。そのため、よく体を動かす児童と、そうでない児童との二極化が顕著に表れている。
- ・保健室の利用状況(傷病の状況)は、心の不安定さから来室する子どもが多く、養護教諭や専任教諭が対応に追われている。

(2) 体力の概要と要因の分析(小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科では自分のよさや可能性に気付くことができることを目標とし、子どもをやる気にさせる展開の工夫や慣れの運動の充実を考え、研修に努める。
- ・運動会では体育科で培った資質・能力をさらに発展させ、演技や競技の練習に取り組み、自分の可能性に気づくことができるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、学習の充実をめざす。

道徳・特活・総合

- ・自らを大切にするとともに、希望や願い、向上心をもって体力向上や健康安全に迎えるように、道徳との関連を図っていく。
- ・運動委員会では「スポーツデイ」「長縄集会」を計画し、年間を通して、楽しみながら運動に取り組むことができる雰囲気をつくるようにする。
- ・毎週火曜日を「スポーツデイ」とし、運動委員会が中心となって、遊びを通して運動の楽しさを味わえるようにする。
- ・学校保健委員会では、児童の実態にあったテーマを設定し、健康・安全に対する意識を高められるようにする。

課外活動

- ・地域行事(地区の体育的行事・ズーラシア駅伝・綱引き大会等)に、積極的に参加できるよう、学校でもそれに向けた支援体制をとるようにする。

平成30年度 笹野台小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 スポーツデイ

《ねらい》

- 児童の体力向上のため、年間を通して運動をする機会を増やす。
- 「休み時間での外遊びの割合が少ない」という実態を踏まえて、遊びを通じた運動の楽しさを味わえるようにする。

《内容》

- 火曜日の中休みを「スポーツデイ」とし、低・中・高学年に分かれて遊びを通して運動の楽しさが味わえるような活動を行う。
- 運動委員会が中心となって、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

《参加体制について》

- ねらいに「運動の楽しさを味わってもらおう」とあるため、自由参加とする。
- どの運動をするのかは、児童が自由に選択できる。
- 他の運動種目への移動は、周囲の安全に気を付けて行えば、可とする。
- 該当学年の担任も全員参加し、児童管理を行う。

4 平成30年度 学年としての具体的取組

1 学年

健やかな体

- ・体力の高まりも学力の高まりに関連していることが分かった。これをもとに学習内容や授業展開を考え指導していく。
- ・友達と仲良く校庭で遊ぶ機会をつくる。
- ・おいしく給食を食べることができる。

2 学年

健やかな体

- ・休み時間はできるだけ外で遊ぶよう指導する。遊びを通して、ルールの大切さや友達とのかかわり方を学びとり、元気な体作りをしていく。
- ・生活リズムを整えるよう声をかけ、家庭とも連携していく。
- ・給食では、苦手なものも一口は食べることができるよう支援する。

3 学年

健やかな体

- ・自発的に身体を動かせるような場や環境をつくる。
- ・栄養バランスや食育を考えた指導。
- ・給食時の支援。

4 学年

健やかな体

- ・休み時間は、できるだけ外で遊ぶように指導を重ね、その中で、友達との関係づくり、健やかな体づくりを行っていく。
- ・体育科の学習では、学ぶ楽しさを味わうと共に確かな技術の習得にも力を入れ、子供たちの意欲に結び付けていく。

5 学年

健やかな体

- ・スポーツデイや各クラスの係活動などで外遊びを推奨し、多様な運動に親しむことで強い体を作る。
- ・運動会や球技交流会にめあてをもって参加し、達成に向けて努力する態度を育てる。
- ・生活のリズムを整えたり、ストレスをためない生活を送れたりするように、教師が気にかけて声を掛ける。

6 学年

健やかな体

- ・今年度の重点研究の体育では、学習形態や学習用具の工夫の仕方を学び、運動量と質を高めていく。
- ・笹小スポーツデイでは、進んで参加し、一人ひとりが運動の楽しさを実感できるような支援を行っていく。
- ・休み時間等を利用し、体を動かす心地よさを味わうことができるようにする。

個別支援学級

健やかな体

- ・始業前に運動の場を設定したり、休み時間に体を動かす遊びをしたりすることで元気な体づくりをする。
- ・生活リズムを整えるよう声をかけ、家庭とも連携していく。